

高栄南公園ビオトープ環境整備



地域協働まちづくり会議高栄小校区きずな

活動の目的

40年前に団地造成時にビオトープとして保全された、公園内の池が経年による周囲の変化と放置により荒れてしまい、ビオトープとしての価値の低下・周囲の柵などの破損により、事故の危険や景観の悪化と身近な親水体験が出来なくなっている現状を改善し、地域の子供たちや住民が水辺に親しみ、環境学習の実施ができる場にするために調査・環境整備を行う。



昨年の活動

ビオトープの環境調査を令和元年度 春・秋の2回実施
ビオトープ周辺の清掃とビオトープ内の藻、外来植物の除去を
令和元年5月から12月まで随時実施



濁度試験



沈殿物調査

外来植物除去



藻の除去



作業前



作業後



2020年の活動

活動内容

- *ビオトープの環境調査（水質・汚濁・沈殿物・生物・環境）
- *ビオトープ内及び周辺の外来植物、ごみ、藻などの除去と清掃
- *ビオトープ周辺の危険個所の修繕、景観の保全

活動予定

5月	調査・清掃	9月	清掃
6月	清掃	10月	清掃・環境整備
7月	清掃・環境整備	11月	調査・清掃
8月	調査・清掃	12月	清掃・データ分析 ・次年度活動計画

地域の自然を地域で守る